

# 今、何の病気が流行しているか！

## 【感染症発生動向調査事業から】

令和元年11月18日（月）～令和元年11月24日（日）〔令和元年第47週〕の感染症発生状況

第47週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.24人と前週（5.03人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

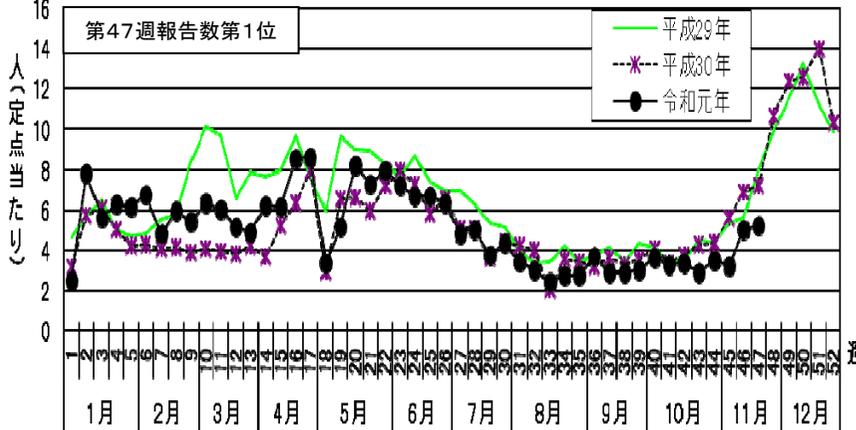
インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.48人と前週（2.67人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.62人と前週（4.73人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

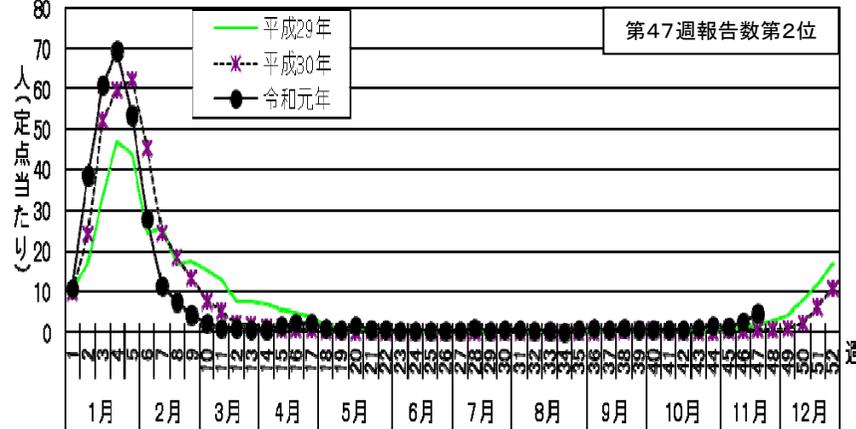
インフルエンザウイルス  
★インフルーくん★



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



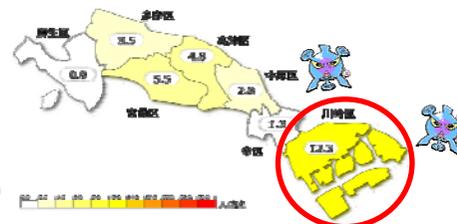
## インフルエンザの報告数が増加中！～早めの予防対策を～

今年は、全国的に早い時期からインフルエンザの報告数が増加しています。川崎市においても、3週間前にインフルエンザの流行が開始となり、その後も報告数の増加がみられています。令和元年第47週（11月18日～11月24日）の定点当たり患者報告数は4.48人で、特に川崎区では定点当たり12.25人と流行発生注意報基準値（定点当たり10.00人）を上回っています。また、本市のリアルタイムサーベイランスによると、11月中旬以降、A型インフルエンザの報告数が急増しています。

市内の学校では学級閉鎖も相次いでいますので、ワクチン接種を予定している方は早めに済ませましょう。

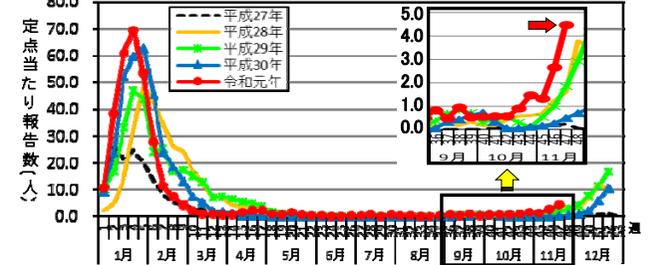
市内の学校では学級閉鎖も相次いでいますので、ワクチン接種を予定している方は早めに済ませましょう。

川崎市におけるインフルエンザ分布マップ  
(令和元年第47週)



川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)

川崎市におけるインフルエンザ発生状況(5年間)



川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)  
リアルタイムサーベイランス(A型・B型インフルエンザ発生状況)  
—令和元年9月1日～令和元年11月26日—

